

## 「子どもの就職」についてのアンケート結果

調査時期：平成23年8月

対象者：県政モニター353人

回答数：292人（回収率82.7%）

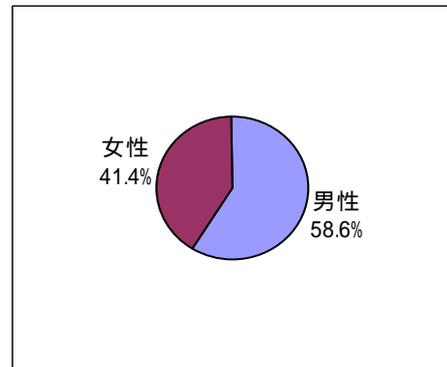
担当課：労働雇用政策課

調査目的：

「就職」は本人のみならず、家族にとっても非常に大切な事柄であり、特に「子どもの就職」に関しては、親の影響が小さくないものと考えております。そのため、県では、親の立場からご自身のお子さんの就職についてどのようにお考えかや、お子さんの現状等をお聞きし、「子どもの就職」に対する親の意識や意向を把握させていただくため、アンケート調査を実施しました。

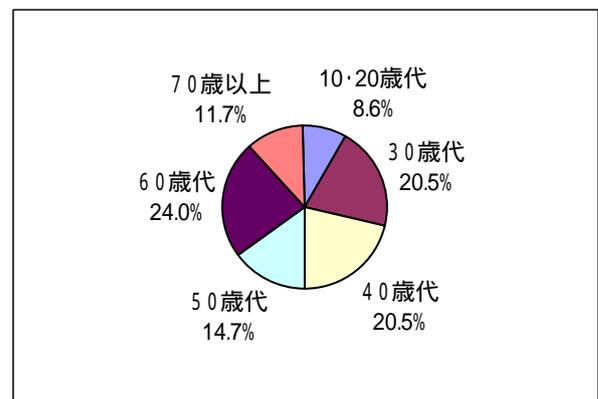
問1 あなたの性別を教えてください。

	人数(人)	割合(%)
男性	171	58.6
女性	121	41.4
合計	292	100



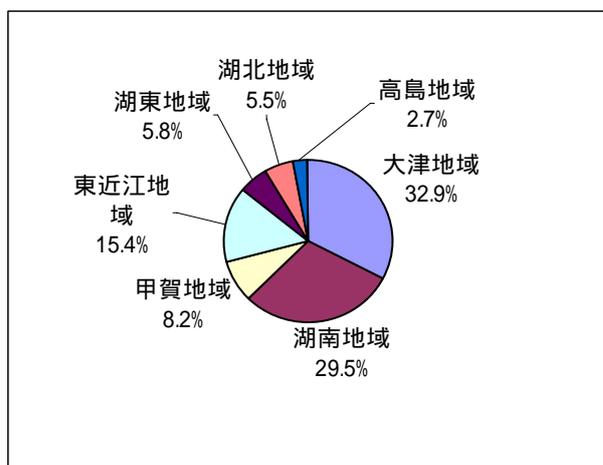
問2 あなたの年齢を教えてください。

	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	8.6
30歳代	60	20.5
40歳代	60	20.5
50歳代	43	14.7
60歳代	70	24.0
70歳以上	34	11.7
合計	292	100



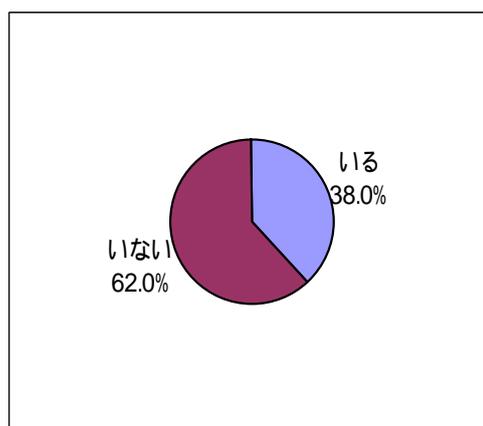
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

	人数(人)	割合(%)
大津地域	96	32.9
湖南地域	86	29.5
甲賀地域	24	8.2
東近江地域	45	15.4
湖東地域	17	5.8
湖北地域	16	5.5
高島地域	8	2.7
合計	292	100



問4 現在(以下、現在とは平成23年8月1日時点)  
あなたに高校生から満39歳までのお子さんがいますか。

	人数(人)	割合(%)
いる	111	38.0
いない	181	62.0
合計	292	100



以下問5～問10は、問4で「いる」とご回答された方にお尋ねします。

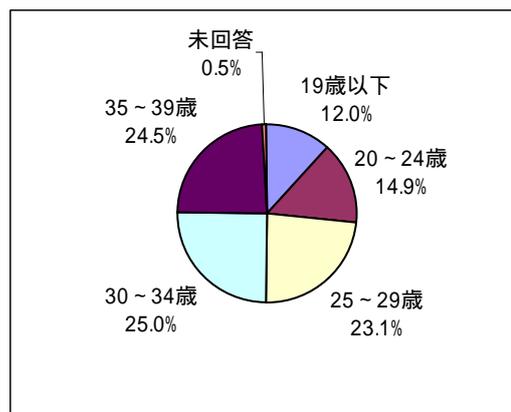
問5 現在、高校生から満39歳までのお子さんについてお尋ねします。  
以下の(1)～(6)は、現在のお子さんの状況について、  
(7)～(9)は、これからお子さんが就職される場合は親の立場からの希望を、  
既に就職されている場合はその状況をお答えください。  
なお、ご回答は、お子さんのお生まれの順に3人目までお答えください。

以下は、ご回答いただきました1～3人目のお子さんについて合計した結果です。

【1～3人目のお子さんの合計】

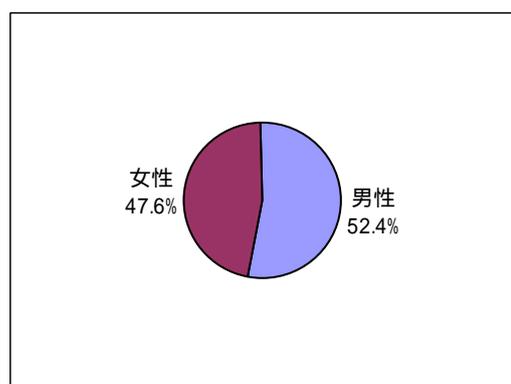
( 1 ) 年齢

	人数(人)	割合(%)
19歳以下	25	12.0
20～24歳	31	14.9
25～29歳	48	23.1
30～34歳	52	25.0
35～39歳	51	24.5
未回答	1	0.5
合計	208	100



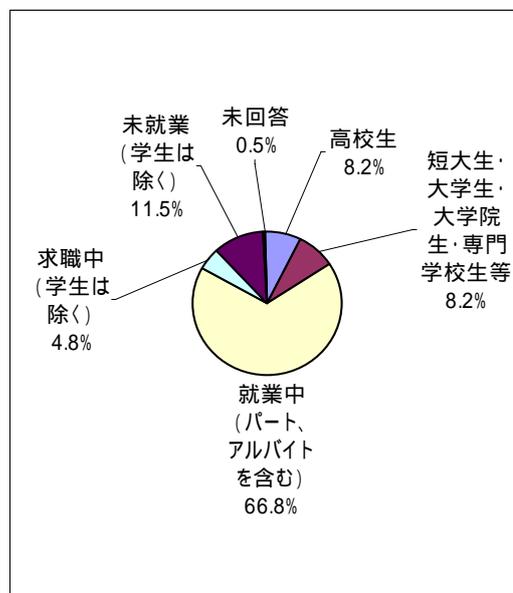
( 2 ) 性別

	人数(人)	割合(%)
男性	109	52.4
女性	99	47.6
合計	208	100



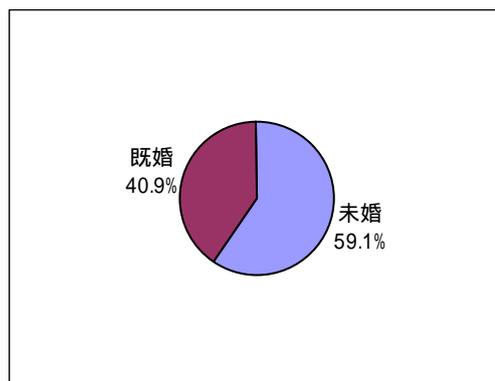
( 3 ) 在学区分 / 就業状況

	人数(人)	割合(%)
高校生	17	8.2
短大生・大学生・ 大学院生・専門学 校生等	17	8.2
就業者(パート、 アルバイトを 含む)	139	66.8
求職中(学生は除 く)	10	4.8
未就業(学生は除 く)	24	11.5
未回答	1	0.5
合計	208	100



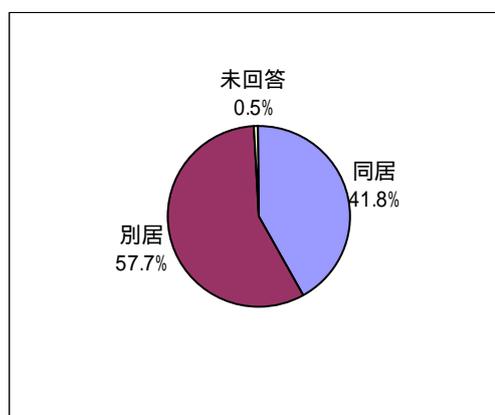
( 4 ) 結婚状況

	人数(人)	割合(%)
未婚	123	59.1
既婚	85	40.9
合計	208	100



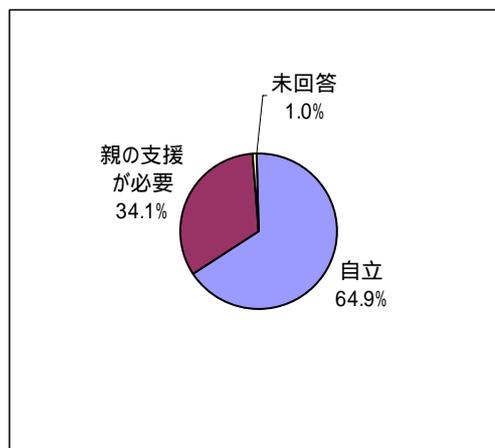
( 5 ) 同居・別居の別

	人数(人)	割合(%)
同居	87	41.8
別居	120	57.7
未回答	1	0.5
合計	208	100



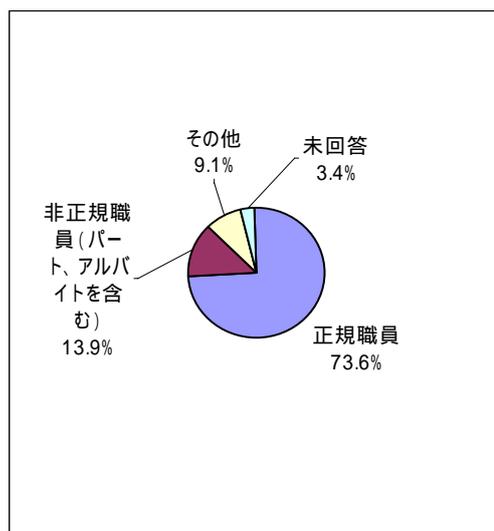
( 6 ) 生計の別

	人数(人)	割合(%)
自立	135	64.9
親の支援が必要	71	34.1
未回答	2	1.0
合計	208	100



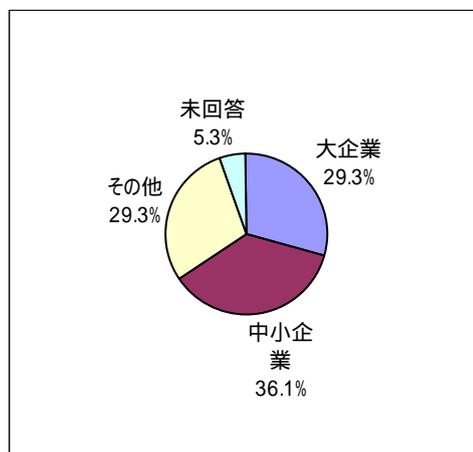
( 7 ) 就業形態

	人数(人)	割合(%)
正規職員	153	73.6
非正規職員(パート、アルバイトを含む)	29	13.9
その他	19	9.1
未回答	7	3.4
合計	208	100



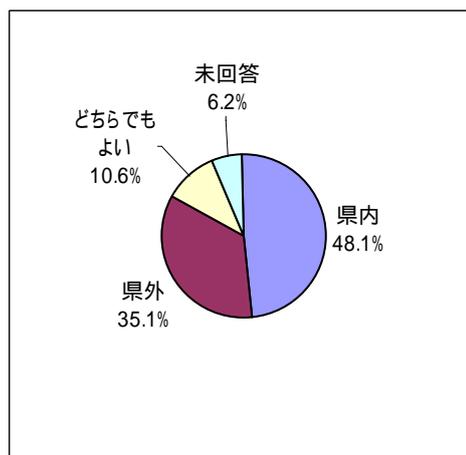
( 8 ) 規模等

	人数(人)	割合(%)
大企業	61	29.3
中小企業	75	36.1
その他	61	29.3
未回答	11	5.3
合計	208	100



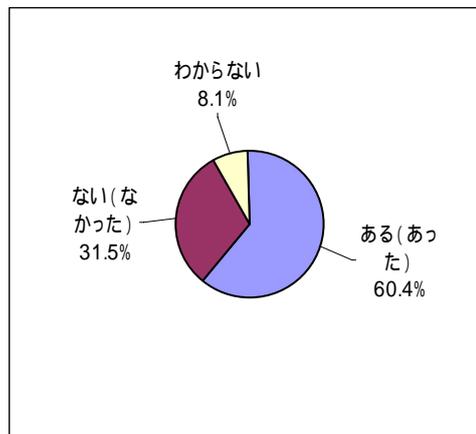
( 9 ) 就業地

	人数(人)	割合(%)
県内	100	48.1
県外	73	35.1
どちらでもよい	22	10.6
未回答	13	6.2
合計	208	100



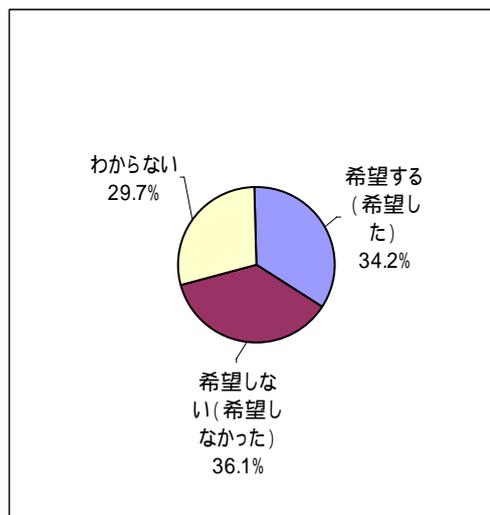
問6 お子さんの就職先として、県内の中小企業について考えたことがあります(ありました)か。

	人数(人)	割合(%)
ある(あった)	67	60.4
ない(なかった)	35	31.5
わからない	9	8.1
合計	111	100



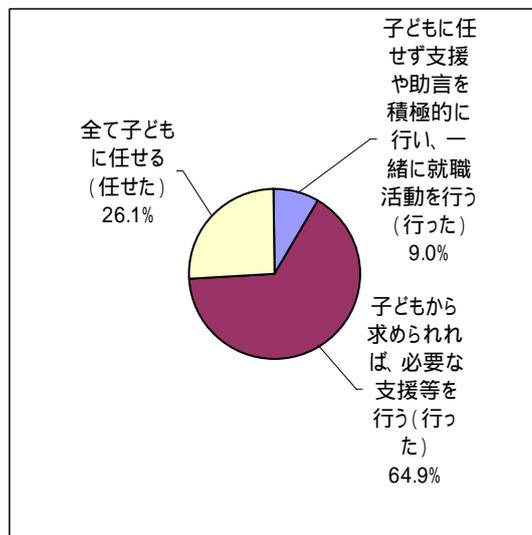
問7 お子さんの就職先として、県内の中小企業を希望しています(しました)か。

	人数(人)	割合(%)
希望する(希望した)	38	34.2
希望しない(希望しなかった)	40	36.1
わからない	33	29.7
合計	111	100



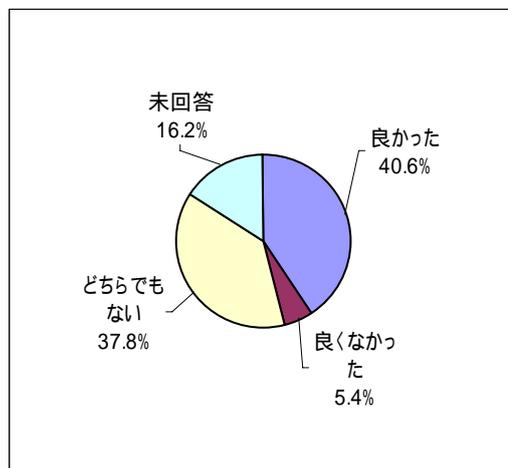
問8 これから就職されるお子さんがいる場合、親としてどのように関わろうと考えていますか。また、全てのお子さんが既に就職されている場合、どのように関わりましたか。

	人数(人)	割合(%)
子どもに任せず支援や助言を積極的に行い、一緒に就職活動を行う(行った)	10	9.0
子どもから求められれば、必要な支援等を行う(行った)	72	64.9
全て子どもに任せる(任せた)	29	26.1
合計	111	100



問9 現在就業中のお子さん、または、過去に就職経験のあるお子さんが1人以上いる方にお尋ねします。就職されたお子さんの、就職に対しての親としての関わり方を、どう評価されますか。

	人数(人)	割合(%)
良かった	45	40.6
良くなかった	6	5.4
どちらでもない	42	37.8
未回答	18	16.2
合計	111	100



問10 その他、「子どもの就職」についてご意見等ございましたら、お聞かせ下さい。  
(抜粋)

- ・なるべく地元で就職して欲しい。
- ・大学教育を受けさせていたので親がこれ以上関与する必要なし。
- ・国内の景気回復が進まず、就職活動にも厳しいものがあり、県としても企業紹介や雇用の開拓、更なる展開を促し橋渡し役に注力すべきかと考える。
- ・これ程不透明な経済情勢の中で、大企業に固執する意味があるのかと最近疑問を抱いており、県内で良いところがあればという願いもある。
- ・サラリーマン家庭に育った子どもに、就職についての希望は自分なりに将来の目的に添った就業をしてもらいたい気持ちで接してきました。本人の意志を尊重した職種の選択に理解を示してきました。
- ・できれば正職員として就職してほしいですが、希望する就職先が見つからなければ、アルバイトでもいいと、わたしは思います。
- ・子供の就職は、基本的には本人の希望を優先し、子供から支援や相談を受けた時に応援した。レポートの作成や面接の練習などに協力してあげることによって子供の平常心が保てたように思う。
- ・人生の先輩であり、社会経験豊かな親が子供の就職に適宜、適切なアドバイスを行うことは必要な事と思います。
- ・非正規職員では希望が持てず結婚や出産もできないので、正規に就職できるような社会や滋賀県になってくれることを願っている。
- ・就職は子どもの人生に関わることなので、何か聞かれたり、相談されたりすると、私の就職に対する考えは折に触れ話したりしたが、本人にまかせていた。地元の企業、中小企業などという隔ては全くなかった。
- ・就職はまだ先とおもっているので実感があまりありません。

- ・子どもの就職を子どもまかせにするのは、親としての義務を果たしていないと思う。積極的にコミットし、助言、指導すべきと思う。
- ・10年前の学生時代から就職を考え、自分自身が社会貢献できる会社を選ぶように、就職活動に少々時間、年月がかかってもしかたがない。本人の強みがいかにせる会社を目指した活動を実践することを忘れてはならない。中途半端な就職活動であってはならない。
- ・就職したら、色々な辛いことがあると思うので、辛い時に自分で決めたからと辛抱できるよう、好きな就業先を自分で決めさせた。とにかく正規雇用にこだわったが。
- ・基本は子どもの考えを尊重だが、あまりにも現実的でない場合、理想のみが先行するようなら助言も必要。
- ・親と子供との考え方にギャップがあり、そのギャップの埋め方が難しい。一致するとは思っていないが、親の経験を伝えることも重要な役目だと思っている。
- ・大変厳しい状況なので、難しいとは思うが、できるだけ子どもの能力が発揮できる会社に就職して欲しいと思う。
- ・今の学生の就職活動は安易過ぎるように思う。大企業優先ばかりで中小企業をもっと見直すべきである。世界的に誇れる中小企業が数多くあることを良く考えるべきである。親の考え方も安易であると同時に、子供に対して甘すぎるのが目に付く。もっと現実を良く見詰めることである。
- ・いくら成人しても現在の日本の雇用情勢は大変厳しい状況なので、本来一緒になって職を見つける活動をしてあげたい(本人まかせではにっちもさっちもいかない面がある時代なので)が、私自身の日々の仕事に追われた状況では本人の自覚にまかせるしかない。
- ・大学や大学院を卒業する子どもの就職は、本人任せで良いと思います。私は本人任せとしました。